

1. 主催者・共催者名

公益財団法人 国際環境技術移転センター

2. タイトル

CTI PFAN プログラムによる適応関連プロジェクトのための資金調達支援

3. 目的・概要

CTI PFAN プログラムのもとで実施する適応関連プロジェクト支援について報告した。

CTI PFAN プログラムの支援により民間からの資金調達を目指す事業開発者などからの体験談をもとに同プログラムの実効性を紹介した。

4. アジェンダ

講演者: 八山 幸司, Elmer Holt, Peter Storey, Michael Feldner, Humphrey Mulindi

3:00 -	Welcome and Introduction to CTI and CTI PFAN 1) Koji Hachiyama, Director, METI / Chair of the CTI Executive Committee 2) Elmer Holt, CTI Manager / Vice-Chair of the CTI Executive Committee
3:10 -	Status of its work on financing adaptation related projects using its tried and tested project development and financing facilitation methodology 3) Peter Storey PPL International, CTI PFAN Global Coordinator
3:20 -	Practical experience from project developers, who are benefiting from CTI PFAN support and advice, for the development, financing and implementation of technology transfer for adaptation projects in Africa 4) Humphrey Mulindi Global Sustainable Ltd, developer of the Kaimosi Yala hydro project in Nigeria
3:30 -	Inputs from investors / financing experts who are working with CTI PFAN on developing a financing framework & approach for adaptation projects 5) Michael Feldner Inspire South Africa, CTI PFAN advisor in RSA
3:40 -	Inputs from investors / financing experts who are working with CTI PFAN on developing a financing framework & approach for adaptation projects 6) Prince Lekan Fadina CISME Consulting Ltd
3:50 -	Summary

5. 発表・議事の概要

CTI 執行委員会議長 八山氏は適応関連プロジェクトに支援範囲を拡大している CTI および CTI PFAN 活動について紹介した。Holt 氏は CTI PFAN プログラムの支援対象となっているプロジェクトのパイプラインには 221 の案件があり、必要資金は 60 億ドルに上る。それらのプロジェクトの実現により、年間 1,350 万トンの CO2 削減が見込まれると述べた。

CTI PFAN グローバルコーディネーターの Storey 氏は、CTI PFAN プログラムによる適応関連プロジェクト支援について紹介した。緩和プロジェクトで培われた CTI PFAN の方法論を適応関連プロジェクトに適用すべく、適応プロジェクト支援プログラムが 2011 年に開始された。そのなかで、官民のパートナーシップによるファイナンスの融合が必要かもしれないということが明らかになってきたと報告した。

Global Sustainable Ltd, の Mulindi 氏は、ケニアにおいて CTI PFAN プログラムの支援を受けた 18MW の Kaimosi 小水力プロジェクトを紹介した。プロジェクトの課題は 1,000 万ドルの資金を株式により調達することであったが、CTI PFAN からの助言により 3 つのフェーズに分けて実施することで実現した。CTI PFAN はプロジェクト開発者に助言を提供し、資金調達を手助けする価値ある取り組みである。

Felder 氏は Caper Verde の波力海水淡水化プロジェクトの支援経験を基に、プロジェクト開発の難しさについて紹介した。同プロジェクトの財務計画は優れており投資額は妥当であるにも拘らず、銀行や投資家を説得するには多大な努力を要した。CTI PFAN はプロジェクト開発プロセスにおいて立ちはだかる諸問題に取り組むことで、プロジェクト開発者の心強いパートナーになっている。

プロジェクト案件のスケールアップの可能性について、Storey 氏は CTI PFAN の支援するプロジェクトの多くはスケールアッププロジェクトであり、導入選考において重視される側面であると述べた。パイプラインアプローチによる反復性について、同氏は、あるプロジェクトで学んだ教訓は他のプロジェクトに生かされており、技術および地域に関わらずバンドリングを進めている。蓄積された経験は、CTI PFAN がプロジェクト開発者に提供できる価値であり、投資家及び銀行家の信頼を得ることに貢献している。

6. 会場写真

